

MOU とは

MOU（Memorandum of Understanding / 覚書）とは、国際的な協力関係を築くための合意文書であり、「共に学び、共に発展する」という意志を形にしたものです。第45回全国大会「つる舞う形のGUNMA いせさき大会」では、日本YEGがブルネイ、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、シンガポールの6カ国の青年経済団体とMOUを締結します。これは、地域経済を支える若手経営者同士が、アジアという共通の成長圏の中で連携し、新たな価値を共創するための第一歩です。地方から世界へ、そして世界から地方へ。

群馬を舞台に交わされるこのMOUは、単なる友好の確認ではなく、地域に根ざした中小企業が海外と結びつき、経営・人材育成・観光・文化交流など多方面での国際連携を進めるための実践的な取り組みです。群馬から始まるこの絆が、日本全国のYEG活動に新たな視点と可能性をもたらしていくことでしょう。



伊香保での交流

群馬県を代表する名湯・伊香保温泉は、400年以上の歴史を誇り、石段街や「黄金の湯」「白銀の湯」に象徴される日本の温泉文化を今に伝える場所です。芸者文化や「かかあ天下」に見られる女性の力が地域を支えてきたこの地は、群馬の進取の精神と多文化的な風土を象徴しています。

今回の全国大会では、海外青年経済団体の皆様を伊香保にお迎えし、温泉や伝統芸能を通じて「日本の心」と「地域文化の力」を体感していただきます。伊香保での交流は、観光を超えた文化体験として、地域の歴史と精神性を世界に発信する絶好の機会です。今後、伊香保から日本文化の魅力を発信し、インバウンドの拡大や地域創生につなげていくことを目指します。この地で生まれる“心の交流”が、国境を越えた理解と連携の新たな架け橋となるでしょう。

地元企業視察

本大会では、海外青年経済団体の皆様を対象に、群馬を代表する企業である太陽誘電株式会社、株式会社SUBARU、島田工業株式会社への視察を実施します。これらの企業は、電子部品、自動車、精密加工といった分野で世界をリードし、日本のものづくり精神と高い技術力を象徴しています。

視察を通じて、日本企業の品質へのこだわり、人材育成、地域との共生の姿勢を実際に体感していただき、国際的な経済協力や人材交流の可能性を探ることができます。また、群馬県にとっても、自県の産業力を世界に発信し、地域の技術が国際ビジネスの舞台で活かされる新たな機会を創出する重要な場となります。群馬発の“ものづくり”が国境を越えて広がることで、地方企業が世界と共に成長する道を切り拓くことを目指しています。

